

農山漁村地域整備計画

平成23年12月 8日

計画の名称 豊かな自然環境と暮らしを育む山城地域ふるさとの森づくり計画					
計画策定主体 京都府（山城広域振興局）					
対象市町村 宇治市、久御山町、宇治田原町、木津川市、笠置町、和束町、南山城村（7市町村）					
計画の期間 平成22年度～平成24年度（3年間）					
計画の目標 当地域は宇治川と木津川を有し、その流域の森林は京阪神への水の供給をはじめ、災害の防止、景観の保全、心身の癒し等重要な役割を果たしており、約8,130haの人工林においては、過去に大阪などへ多くの木材を供給するなど京都府南部の林業地でありました。 しかし、当地域は急峻な山が多く、昭和61年の集中豪雨をはじめ、度々大きな災害に見舞われており、地域住民からは安心・安全な暮らしを強く求められています。 また、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化等から、林業離れが進み、手入れが行き届かず、機能の低下した森林が年々増加する中、企業や地元の森林ボランティア等地域住民を交えた森づくりが積極的に展開されはじめています。 本計画では、近年の間伐実施面積290ha/年を今後350ha/年に拡大していくとともに、治山施設等による森林基盤を総合的に整備し、荒廃した森林の再生を進めることで森林の公益的機能の維持・増進を図り、安心・安全な地域づくりに努め、府民ぐるみで地域の豊かな自然環境と暮らしを育む「ふるさとの森づくり」を目指します。 また、林内の間伐材を搬出利用することで災害時の木材流出を防止し、安心・安全な自然環境につなげるとともに、充実してきている森林資源の循環有効利用を進め、地域の産業のひとつとして林業を再度位置づけ、地域の活性化を図ります。					
定量的指標 ① 森林基盤整備を推進することにより、間伐材の利用を現状の148m ³ /年（H18～20平均）から314m ³ /年（H22～24平均）に向上させます。 ② 山地災害防止機能が確保される集落を16集落（H21時点）から19集落（H24時点）に増加させます。					
①対象事業					
事業名	地区名	事業実施主体	工期	総事業費	主な事業内容等
治山事業	山城	京都府	H24	15,750	予防治山
効果促進事業	山城	京都府	H24	1,050	防災啓発看板
森林整備事業	山城	京都府森と緑の公社、宇治市森林組合、宇治田原町森林組合	H22～H24	983	公的森林整備推進 絆の森整備
農業用水保全の森づくり事業	山城	宇治田原町森林組合	H22	11,426	流域育成林整備
合計 （全体事業費）				29,209	
②関連事業					
事業名	地区名	事業実施主体	工期	総事業費	主な事業内容等
漁場保全の森づくり事業（保安施設事業）	山城	京都府	H22～H24	91,076	奥地保安林保全緊急対策
効果促進事業	山城	京都府	H22～H24	2,374	防災啓発看板
森林環境保全直接支援事業	山城	京都府森と緑の公社、宇治市森林組合、宇治田原町森林組合、和束町森林組合、南山城村森林組合	H23～H24	12,732	森林環境保全直接支援
合計 （全体事業費）				106,182	

※対象事業を示した図面を添付